

レーザー光源装置の正しい使い方

実験中の注意

■ 使い方

- ①電源がOFFになっていることを確認してから、コンセントと接続する。
- ②レーザー照射口が安全な方向に向いていることを確認してから電源をONにする。

■ 注意事項

● レーザー光をのぞきこまない。

- ・レーザー光線は直接目に入ると網膜に障害を起こす危険性があるため、レーザー光線を絶対に直視しない。また、レーザー光をのぞきこまない。

- ・光学器具（ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など）を使って、直接レーザー光を見ない。

● レーザー光を人に向けない。

- ・レーザー光の光路の高さは、歩行時、実験時における目の高さを避ける。
- ・反射率の高い物は、レーザーの周囲に置かないようにする。
(例) 腕時計のガラス・ガラス器具・鏡・金属など

● レーザーを使用しないときは電源を切る。



製品仕様の確認項目

- クラス2相当（最大出力1mW）である。
- レーザー出力安定化回路を搭載している。
- PSCマーク（消費生活用製品安全法で規定されたマーク）が表示されている。

※PSCマークが必要なのはハンディタイプに限る。



※万が一、レーザー光線を直視し、目に違和感が残る場合は専門医の診察を受けてください。



理科教育を支援する

公益社団法人 日本理科教育振興協会

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>